

第3回 笠松町第5次総合計画審議会 議事概要

日 時	平成22年11月9日（火） 9:00～11:17
場 所	笠松町役場 4階大会議室
出席の委員	岩井会長 道家副会長 伊藤委員 岩田委員 加藤(知)委員 加藤(大)委員 久納委員 志智委員 杉山委員 高木委員 勅使川原委員 服部委員 林委員 松波委員 安田委員 山田委員 (以上16名)
欠席の委員	松原委員 船橋委員 名和委員 (以上 3名)
議事概要	<p>① 会長あいさつ</p> <p>今回の審議は、総合計画の骨子となる重要な部分である。大変多岐にわたっているが、取り組み項目等に漏れがないかという視点で意見を賜りたい。</p> <p>② 町長あいさつ</p> <p>前回は、まちづくりの理念や将来像について決定していただいた。その後、庁内では専門部会などにおいて案を策定し、提出させていただいた。 ご意見をお願いしたい。</p> <p>③ 審議（検討・質疑応答等）</p> <p>〔序論および基本構想部分について〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「少子超高齢化社会」という表現は適切ではなく、「少子超高齢社会」と統一すべきではないか。 → 最終的な文言については整理が必要であり、「化」については削除する方向で検討する。 <p>〔基本計画について〕</p> <p>〈基本方向1「いのち輝くやさしいまち」について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前回意見のあった「男女共同参画」の所属はこれで良い。 <p>〈基本方向2「生涯にわたって楽しく学べるまち」について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育は非常に大事なことであるが、親の教育についても入れるべきではないか。 ○ 細目77の「学校・家庭・地域との連携の強化」で捉えるべきだが、PTA活動など、子どもの卒業とともに関係が切れてしまう。地域での青年会や壮年会があればもっと教育に寄与することになる。 ○ ボランティア組織ができれば、周辺への広がりや地域の団体づくりができる。 ○ 細目62の「学校給食センター設備の充実」は子どもの食育を考えるうえで重要である。 ○ 細目75「いじめ・不登校児童生徒への支援」や細目76「教職員研修への支援」が挙げられているのはいいことである。団塊の世代の教員の退職後、若い教員が増えたが、経験を積み、いい教員になってもらいたい。 ○ 教育委員会としても「地域人材の活用」ということで、キャリアを持った人が学校現場をサポートしてもらうことを検討している。家庭や地域力を高める手立てになる。 ○ 細目85「家庭の教育力向上に向けた支援」の場所はここがいいのか。 ○ 細目78「環境浄化活動の推進」とは、教育環境のことか、ごみ拾いのことか分からない。 ○ 有害図書販売の排除のことだと思うが、なかなかうまくいかない。地域での協力が必要。 ○ 有害環境を無くすということなら分かりやすい言葉にした方がよい。 ○ 細目77「学校・家庭・地域との連携の強化」や細目85「家庭の教育力向上に向けた支援」などは、関連性がある。この辺りをもう少し整理した方がよい。 ○ 最も問題なのは、PTA活動などに参加しない人であり、そういう人を教育していくべきである。 ○ 細目77「学校・家庭・地域との連携の強化」については適切な場所に入れてもらい、関連細目として挙げるなど、専門部会で検討すること。 <p>→ 家庭教育など、本日の意見を踏まえ、まとめていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 青少年の健全育成に関する取り組みが少ないのではないか。

